

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成31年4月18日（木）

3. 調査の対象

泉佐野市立第三中学校 第3学年，全生徒

実施生徒数（ 162 人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、小学校は国語及び算数，中学校は国語，数学及び英語。

イ 出題範囲は，調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし，出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，知識・技能に関する内容と，それらを活用する力や構想を立てて実践し評価・改善する力などに関する内容とする。

ウ 出題形式については，国語及び算数・数学においては，選択式及び短答式に加え，記述式の問題とする。英語においては，選択式，短答式及び記述式の問題に加え，「話すこと」に関する問題の解答は，原則として口頭式によるものとする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に，学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に，学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より，文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は，整数となっております。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べると上位層及び中上位層がやや少なく、下位層に少し偏りが見られる。

平均正答率（本校 65／泉佐野市 65／大阪府 70／全国 72.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○話合いの話題や方向を捉えることに課題がある。 2 一話合いでの発言の役割についての説明したものととして適切なものを選択する (71.0/80.4)</p> <p>○話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことに課題がある。 2 三話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないうこと」について自分の考えを書く (48.1/60.4)</p> <p>【書くこと】 ○書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討することは概ねできている。 3 一意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する (84.0/87.4)</p> <p>○伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことに課題がある。 3 二広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える (68.5/77.8)</p>	<p>【読むこと】 ○文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことに課題がある。 1 一「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したものととして適切なものを選択する (50.0/63.9)</p> <p>○文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある。 1 二「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する (56.2/61.5)</p> <p>○文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことは概ねできている。 1 三「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く (84.0/91.2)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解することに課題がある。 4 語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する (71.0/78.7)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	56.7	61.7	◇	5.0
国語の勉強は大切だと思いますか	84.8	91.0	◇	6.2
国語の授業の内容はよく分かりますか	78.0	77.6		0.4
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	76.8	88.0	○	11.2
国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか	55.5	71.6	○	16.1
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか	53.6	77.4	○	23.8
国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか	48.2	64.4	○	16.2
国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか	55.5	68.4	○	12.9
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように回答しましたか ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	68.3	79.8	○	11.5

○「国語の勉強は大切だ」と感じている生徒の割合は、高いことは評価できるが、依然全国との差があることは課題である。(H29 77.4)

○「国語の授業の内容はよく分かる」と感じている生徒の割合は、全国を若干上回ったことは評価できる。(H29 64.7)

○「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」生徒の割合は、全国との差が大きいことは課題である。

○「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している」生徒の割合は、全国との差が大きいことは課題である。

○「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいる」生徒の割合は、全国との差が大きいことは課題である。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国と比べ上位層及び中上位層がやや少なく、下位層に少し偏りが見られる。

平均正答率（本校 52／泉佐野市 54／大阪府 58／全国 59.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学	特徴がみられた設問
<p>【数と式】</p> <p>○簡単な連立二元一次方程式を解くことに課題がある。 3 連立二元一次方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解く (59.3/70.1)</p> <p>○与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることに課題がある。 9 (1) 説明をよみ、$6n + 9$を$(2n + 3)$に変形する理由を完成する (50.6/57.4)</p> <p>○事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。 9 (2) 連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する (47.5/59.7)</p> <p>○総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することに課題がある。 9 (3) 連続する4つの奇数の和が$4(2n + 4)$で表されたとき、$2n + 4$はどんな数であるかを選ぶ (63.6/69.6)</p> <p>【図形】</p> <p>○平行移動の意味を理解することに課題がある。 3 $\triangle ABC$を、矢印の方向に$\triangle DEF$まで平行移動したとき、移動の距離を求める (75.9/83.6)</p> <p>○証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解することに課題がある。 7 (1) 証明で用いられている三角形の合同条件を書く (65.4/75.8)</p> <p>○結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することに課題がある。 7 (3) 四角形$ABCD$がどのような四角形であれば、$AF = CE$になるかを説明する (43.2/53.3)</p>	<p>【関数】</p> <p>○反比例の表から、xとyの関係を式で表すことに課題がある。 4 反比例の表から式を求める (43.8/48.9)</p> <p>○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。 6 (2) 冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する (22.8/34.7)</p> <p>【資料の活用】</p> <p>○簡単な場合について、確率を求めることに課題がある。 5 2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める (66.7/72.8)</p> <p>○資料を整理した表から最頻値を読み取ることに課題がある。 8 (1) 読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める (44.4/57.9)</p> <p>○資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 8 (2) 「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する (32.1/40.8)</p> <p>○問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することに課題がある。 8 (3) 図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ (38.9/53.6)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	67.0	57.9	◇	9.1
数学の勉強は大切だと思いますか	82.4	84.2		1.8
数学の授業の内容はよく分かりますか	87.8	73.9	○	13.9
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	73.2	76.2		3.0
今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように解答しましたか ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	54.3	60.8	◇	6.5

- 「数学の勉強は好きだ」と感じている生徒の割合は、昨年度と共に全国を上回っていることは評価できる。(H30 62.0)
- 「数学の勉強は大切だ」と感じている生徒の割合は、昨年度を上回っていることは評価できる。(H30 70.5)
- 「数学の授業の内容はよく分かる」と感じている生徒の割合は、昨年度と共に全国を上回っていることは評価できる。(H30 72.3)
- 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている生徒の割合は、昨年度を上回っていることは評価できるが、依然全国との差があることは課題である。(H30 56.0)

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（英語）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べるとやや下位層が多い。

平均正答率（本校 49／泉佐野市 53／大阪府 56／全国 56.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

英語	特徴がみられた設問
<p>【聞くこと】</p> <p>○語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることに課題がある。</p> <p>1（1）ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する (79.0/91.1)</p> <p>○教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることに課題がある。</p> <p>1（2）教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する (64.8/88.6)</p> <p>○日常的话题について、情報を正確に聞き取ることに課題がある。</p> <p>1（3）外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する (56.8/72.3)</p> <p>1（4）家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する (52.5/61.8)</p> <p>○まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することに課題がある。</p> <p>2 イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を並び替える (63.6/71.8)</p> <p>○まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することは概ねできている。</p> <p>3 天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する (80.2/82.0)</p> <p>○聞いて把握した内容について、適切に応じることに課題がある。</p> <p>4 来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く (1.9/7.6)</p>	<p>【読むこと】</p> <p>○日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることに課題がある。</p> <p>5（1）ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する (72.8/79.4)</p> <p>○日常的话题について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる</p> <p>5（3）月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する (61.7/73.1)</p> <p>○まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することに課題がある。</p> <p>7 チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する (32.1/32.8)</p> <p>○書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることに課題がある。</p> <p>8 食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く (8.8/10.9)</p>

【書くこと】

- 文の中で適切に接続詞を用いることに課題がある。
- 9 (1) ①文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する (71. 6/79. 9)
- 一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことに課題がある。
- 9 (2) ①与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く (60. 5/73. 6)
- 一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことに課題がある。
- 9 (2) ②与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く (24. 1/28. 9)
- 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことに課題がある。
- 9 (3) ②与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く (27. 2/32. 9)
- 与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことに課題がある。
- 9 (3) ③与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く (27. 2/37. 4)
- 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことに課題がある。
- 10 学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く (1. 2/1. 8)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
英語の勉強は大切だと思いますか	84.8	85.4		0.6
英語の授業はよく分かりますか	78.0	66.0	○	12.0
英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	84.2	85.4		1.2
あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）が十分にありましたか	30.5	33.8		3.3
あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたか職業に就いたりしたいと思いますか	36.6	41.3		4.7
1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	68.9	79.2	○	10.3
1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	54.2	62.9	◇	8.7
1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	43.9	77.2	○	33.3
1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか	54.9	77.4	○	22.5
1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか	61.0	74.6	○	13.6

- 「英語の勉強は大切だ」と感じている生徒の割合が高いことは評価できる。
- 「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている生徒の割合が高いことは評価できる。
- 「これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）が十分にあった」生徒の割合が低いことは課題である。
- 「1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた」と感じている生徒の割合が低く、全国との差が大きいことは課題である。
- 「1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた」と感じている生徒の割合が低く、全国との差が大きいことは課題である。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものや特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【自分自身について】	<p>○自分には、良いところがあると思う割合は全国を下回っている。</p> <p>○先生は、よいところを認めてくれていると思う割合は、全国を下回っている。</p> <p>○学級で話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある割合は、全国を下回っている。</p> <p>○人が困っているときに、進んで助けている割合は、全国を下回っている。</p>	<p>○自分には、よいところがあると思いますか <u><57.3/74.1></u></p> <p>○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか <u><70.1/81.5></u></p> <p>○学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか <u><60.4/82.8></u></p> <p>○人が困っているときは、進んで助けていますか <u><75.0/85.9></u></p>
【家庭生活の様子】	<p>○朝食を毎日食べている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○家の人と学校での出来事について話をする割合は全国を下回っている。</p> <p>○新聞を読まない 割合は、全国を上回っている。</p> <p>○地域や社会をよくするために考えることがある割合は、全国を下回っている。</p>	<p>○朝食を毎日食べていますか <u><78.1/93.1></u></p> <p>○家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか <u><60.4/76.4></u></p> <p>○新聞を読んでいますか ほとんど、または、全く読まない <u><82.9/71.3></u></p> <p>○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか <u><27.5/39.4></u></p>

	○日本や地域について、外国の人に知ってもらいたいと思う割合は、全国を下回っている。	○日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか <u><46.4/59.3></u>
【家庭学習の様子】	○学校の授業時間以外に、2時間以上勉強をしている割合は、全国を上回っている。しかし、30分未満は、全国を上回っている。 ○1日当たりの読書を全くしない割合は、全国を上回っている。 ○学校図書館・学校図書室や地域の図書館に行かない割合は、全国を上回っている。 ○読書が好きだと感じている割合は、全国を下回っている。	○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む) 2時間以上<38.4/35.5> 30分未満<26.8/12.8> ○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) 全くしない<60.4/34.8> ○昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか ほとんど、または、全く行かない<72.6/55.3> ○読書は好きですか <u><57.9/68.0></u>
【学校での生活の様子】	○学校の規則を守っている割合は、全国を下回っている。 ○学校の部活動に参加している割合は、全国を下回っている。 ○先生は、分かるまで教えてくれていると思う割合は、全国を下回っている。 ○授業で、ICTを使用している頻度は、全国を下回っている。	○学校の規則を守っていますか <u><90.2/96.2></u> ○学校の部活動に参加していますか 運動部、文化部のどちらにも参加していない <u><28.0/12.4></u> ○先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか <u><79.3/84.6></u> ○1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか 週1回以上 <u><17.1/30.6></u>

<p>【学校での学習の様子】</p>	<p>○総合的な学習の時間では、課題を立てたり、発表する活動に取り組んでいると思う割合は、全国を下回っている。</p> <p>○学級会で話し合い、意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う割合は、全国を下回っている。</p> <p>○学級での話し合いを生かして、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思う割合は、全国を下回っている。</p> <p>○自分の考えを発表する機会では、うまく伝わるよう、話の組み立てなどを工夫して発表したと思う割合は全国を下回っている。</p> <p>○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う割合は、全国を下回っている。</p>	<p>○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか <u><35.3/61.5></u></p> <p>○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか <u><37.2/71.6></u></p> <p>○学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか <u><44.5/65.6></u></p> <p>○1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか <u><39.0/55.8></u></p> <p>○1, 2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか <u><48.8/76.6></u></p>
--------------------	--	---

本校の取り組み

◎これまでの取り組み

5年前よりメロディーチャイムを導入し、チャイム着席等の授業規律の徹底において顕著な成果が得られている。また、三中のめざす授業づくりを『授業 三中スタイル』として、授業改善に努めている。

学力向上委員会を核にして各分掌と連携しながら、毎年、各学期に行う教職員や生徒を対象にしたアンケートや全国学力学習状況調査及びチャレンジテストの結果を分析し、実態把握と課題の明確化及び、その改善に取り組んできた。

自ら学び取る生徒を育てる授業づくり 『授業 三中スタイル』

1. めあてを板書し、生徒の動機づけを図る
2. いきいき活動する場面がある（作業や書く、発表する、ペア・グループワークなど）
3. 考える場面がある
4. 静かに自分を振り返る、振り返り活動がある
5. ユニバーサルデザインの視点による授業設計

○『授業 三中スタイル』における授業改善の取り組み

今年度のテーマ「知識や技能を活用し、根拠を基に自分の考えを表現する（書く・話す）力の育成」

- ① 「めあて」と「振り返り」の取り組みと生徒への意識化
- ② 活動する場面（書く・発表する・ペアやグループ活動）の充実
- ③ 「書く」ことや「対話」を通じた「表現する力」の育成に向けて
 - ・全員参加の授業づくり
 - ・「書く」課題をテストにも出題し、指導と評価の一体化を図る。
 - ・各授業で『泉佐野スタンダード』の目標ステップのクリア
- ④基礎的な計算力の育成 「すうがく がんばりmath」の取り組み（練習問題と小テストの実施）

○授業規律「授業の受け方・大切にしたい9つのこと」、授業規律重点4項目、及び教職員間の申し合わせ

○「2019年度目標評価規準の9教科一覧と家庭学習の手引き」で評価方法や学習の仕方を周知。

○家庭学習の定着の取り組み（「中学生の生活・学習ノート」の活用、「週末宿題」の実施）

○少人数習熟度別指導（加配教員を活用し、2年生の数学科と英語科、3年生の英語科で指導。）

○放課後学習

- ・市のまなびんぐサポート事業（週2回、3年生の希望者に英語科と数学科の自学自習のサポート）
- ・定期テスト前の放課後学習会の開催
- ・長期休業中の補充学習

○生徒会や各種委員会との連携

- ・文化委員会と副委員長が連携し、全校一斉漢字小テスト実施している。
- ・文化委員会が図書室の整備と読書活動推進の啓発を行っている。

○校内研修

- ・学力向上に関連する情報の共有、取り組みの検証、及びアンケートや学力調査の結果分析等の共有
- ・三中の授業づくりの共有、テスト作成の注意事項と指導、及び評価の一体化の共有
- ・講義「道德の授業とその評価について」 講師：指導主事（泉佐野市教委）

◎これからの取り組み

○『授業 三中スタイル』における授業改善の取り組みと相互授業参観の推進

○校内授業研究の実施（11月と2月）

○各種アンケートの実施と結果の活用（職員対象授業アンケート生徒対象学習アンケート等）

○平成31年度全国学力・学習状況調査及びチャレンジテストの結果分析の活用

○週末宿題や「中学生の生活・学習ノート」を使った自学自習の取り組みの活性化